



## 2024年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年5月14日

上場会社名 株式会社 i - p l u g 上場取引所 東  
コード番号 4177 URL https://i-plug.co.jp  
代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 中野 智哉  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 阪田 貴郁 TEL 06-6306-6125  
定時株主総会開催予定日 2024年6月21日 配当支払開始予定日 -  
有価証券報告書提出予定日 2024年6月21日  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期の連結業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	4,602	23.0	139	-	137	-	△193	-
2023年3月期	3,741	23.0	△411	-	△397	-	△492	-

(注) 包括利益 2024年3月期 △193百万円 (-%) 2023年3月期 △492百万円 (-%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	△49.15	-	△22.3	4.1	3.0
2023年3月期	△125.26	-	△41.2	△11.7	△11.0

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 -百万円 2023年3月期 -百万円

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	3,199	782	24.4	198.09
2023年3月期	3,494	960	27.5	243.96

(参考) 自己資本 2024年3月期 782百万円 2023年3月期 960百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	490	△290	△415	2,164
2023年3月期	△291	△452	340	2,379

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2024年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2025年3月期(予想)	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,640	22.5	550	294.3	548	298.0	406	—	102.83

※ 注記事項

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2024年3月期	3,949,205株	2023年3月期	3,937,551株
2024年3月期	857株	2023年3月期	28株
2024年3月期	3,945,434株	2023年3月期	3,931,311株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年3月期の個別業績 (2023年4月1日~2024年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	4,249	24.2	498	372.3	550	292.7	△837	-
2023年3月期	3,420	22.7	105	△69.5	140	△62.7	71	△73.1

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期	△212.39	-
2023年3月期	18.14	17.96

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	3,190	761	23.9	192.76
2023年3月期	3,942	1,583	40.2	402.17

(参考) 自己資本 2024年3月期 761百万円 2023年3月期 1,583百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、業績の予想等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料P. 4「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算説明会について)

当社は、2024年5月15日(水)に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会で使用する決算補足説明資料はTDnetで本日開示するとともに、当社ウェブサイトにも掲載しております。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益及び包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(セグメント情報) .....	10
(1株当たり情報) .....	11
(重要な後発事象) .....	12

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当期の経営成績の概況

当社グループは、「つながりで世界をワクワクさせる」というミッションのもと、就職活動中の学生や求職者、企業を対象に新卒オファー型就活サービス「OfferBox（オファーボックス）」、適性検査サービス「eF-1G（エフワンジー）」、オファー型転職サービス「PaceBox（ペースボックス）」、食品業界に特化した就職活動イベントの企画・運営「Tsunagaru就活」等HR関連サービスを提供してまいりました。

2025年卒の大卒求人倍率は1.75倍で、2024年卒の1.71倍から0.04ポイント増加しており、コロナ禍直前の2019年卒（1.88倍）の水準に戻りつつあることから、企業の採用意欲の堅調さが見られます（出典：リクルートワークス研究所「大卒求人倍率調査」）。また、2024年卒学生の就職内定率（2024年3月卒業時点）は、96.8%と2023年卒（96.8%）と同水準となりました（出典：㈱リクルート「就職白書2024 就職みらい研究所」）。

## (売上高)

当社グループの主力サービスである新卒オファー型就活サービス「OfferBox」は、2024年3月末時点の企業登録数が1.7万社、学生登録数が24.6万人となり、順調に価値提供範囲を拡大しております。

このような状況のなか、当連結会計年度の売上高は4,602,623千円（前年同期比23.0%増）、OfferBoxの2024年卒内定決定人数は7,394人（同15.1%増）となりました。

当社グループは、HRプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。サービス別に区分した売上高の概況は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	
	金額 (千円)	金額 (千円)	前年同期比 (%)
OfferBox (早期定額型)	2,691,177	3,443,563	128.0
OfferBox (成功報酬型)	680,532	740,746	108.8
eF-1G (適性検査)	264,821	273,874	103.4
その他	104,922	144,438	137.7
合計	3,741,454	4,602,623	123.0

## OfferBox (早期定額型)

2025年卒を対象とした早期定額型は、企業の早期利用ニーズを着実に取り込み、契約継続だけでなく、成功報酬型からの切り替えや新規受注も好調に推移しました。この結果、当連結会計年度のOfferBox（早期定額型）の売上高は3,443,563千円（前年同期比28.0%増）となりました。

## OfferBox (成功報酬型)

2024年卒を対象とした成功報酬型は、企業の採用意欲の高まり等から学生の内定決定は堅調に推移しましたが、早期定額型の受注が好調であったため、入社合意枠を超過した内定決定は前年並みとなりました。一方、新卒紹介サービスのOfferBoxPLUSは堅調に推移しました。この結果、当連結会計年度のOfferBox（成功報酬型）の売上高は740,746千円（前年同期比8.8%増）となりました。

## eF-1G (適性検査)

新卒採用における適性検査の受検数は堅調に推移しました。この結果、当連結会計年度のeF-1G（適性検査）の売上高は273,874千円（前年同期比3.4%増）となりました。

## その他

前連結会計年度から連結の範囲に含めた子会社（株式会社pacebox及び株式会社マキシマイズ）や新規事業等の売上高が含まれております。この結果、当連結会計年度のその他の売上高は144,438千円（前年同期比37.7%増）となりました。

## (営業利益)

オファー型転職サービス「PaceBox」は、人件費やプロモーション関連に先行投資していたものの、想定していたマッチングを創出することができず、多額の損失を計上することとなりました。しかしながら、主力サービスである「OfferBox」は、更なる成長のための投資を行いながら収益性を改善し、「PaceBox」の損失をカバーしました。この結果、当連結会計年度の営業利益は139,478千円（前年同期は411,825千円の営業損失）となりました。

## (経常利益)

銀行借入に対する支払利息等を計上しております。この結果、当連結会計年度の経常利益は137,673千円（前年同期は397,437千円の経常損失）となりました。

## (親会社株主に帰属する当期純損失)

当連結会計年度において減損損失等の特別損失を計上したこと等により、当連結会計年度の親会社株主に帰属する当期純損失は193,933千円（前年同期は492,421千円の親会社株主に帰属する当期純損失）となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

## (資産)

当連結会計年度末における資産合計は3,199,449千円となり、前連結会計年度末に比べ295,162千円減少いたしました。これは主にソフトウェアが271,960千円増加した一方で、現金及び預金が215,214千円、のれんが196,356千円減少したこと等によるものであります。

## (負債)

当連結会計年度末における負債合計は2,417,305千円となり、前連結会計年度末に比べ116,717千円減少いたしました。これは主に契約負債が182,023千円増加した一方で、長期借入金金が308,290千円減少したこと等によるものであります。

## (純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は782,144千円となり、前連結会計年度末に比べ178,445千円減少いたしました。これは主に親会社株主に帰属する当期純損失の計上によるものであります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ215,214千円減少し、当連結会計年度末には2,164,680千円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は490,310千円（前年同期は291,496千円の使用）となりました。これは主に減損損失の計上201,755千円、契約負債の増加額182,023千円、税金等調整前当期純損失が120,128千円（前年同期は税金等調整前当期純損失397,437千円）等によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は290,058千円（前年同期は452,224千円の使用）となりました。これは主に無形固定資産の取得による支出259,214千円によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は415,467千円（前年同期は340,197千円の獲得）となりました。これは主に長期借入金の返済による支出365,274千円によるものであります。

#### (4) 今後の見通し

足元の世界情勢は、コロナ禍からの社会経済活動の正常化にともない、世界経済は着実に回復しておりますが、世界的なインフレ進行とそれに対する金融引き締め、長期化するロシア・ウクライナ情勢、イスラエル・パレスチナでの戦争勃発など、引き続き不安定な要素を抱えております。

当社グループが事業を展開する日本国内における新卒採用市場におきましては、2025年卒業予定者の大卒求人倍率は1.75倍と2024年卒の1.71倍より0.04ポイント上昇し、企業の新卒採用意欲は高い状態を維持しております(出典:リクルートワークス研究所)。また、就職内定率は4月1日時点で58.1%(前年同月比+9.7ポイント)と引き続き高い水準となりました。さらに3月中の内定取得・辞退企業数が前年に比べて増加しており、より早い時期に選考活動が進んでいることが窺えます。

このような環境のなか、当社グループの主力サービスである新卒オファー型就活サービス「OfferBox」については、積極的な販促活動を行い、より一層の認知度向上に努めるとともに、新たなサービスの開発・拡充とプロダクトの進化を図り、競争優位性を高めてまいります。

また、連結子会社の株式会社イー・ファルコンが提供する適性検査サービス「eF-1G」については、顧客への付加価値を高めるためのプロダクト開発に注力し、さらなる機能強化に取り組んでまいります。

さらに、食品業界に特化した就職活動イベントの企画・運営「Tsunagaru就活」など、就職活動中の学生及び企業のニーズに応えるべく、各種サービスの拡充に努めてまいります。

一方で、2023年3月期から中途採用領域への大規模な投資を行いながらも撤退という結果になってしまったことを反省し、今後は、既存事業の価値提供範囲を着実に広げつつ、中長期の持続的な成長のための投資を適切な規模で実行し、事業開発と利益成長の両立を実現してまいります。

これらを踏まえた翌連結会計年度(2025年3月期)の連結業績見通しにつきましては、売上高5,640,000千円(前年同期比22.5%増)、営業利益550,000千円(前年同期比294.3%増)、経常利益548,000千円(前年同期比298.0%増)、親会社株主に帰属する当期純利益406,000千円(前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失193,933千円)を予想しております。

なお、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

(注) 2025年3月期の個別業績予想については、連単倍率が低いことに鑑み、開示しないこととしました。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,379,895	2,164,680
売掛金	123,312	106,116
契約資産	—	1,650
前払費用	193,246	198,521
その他	69,614	30,252
流動資産合計	2,766,069	2,501,220
固定資産		
有形固定資産		
建物	38,739	38,739
工具、器具及び備品	49,526	46,702
リース資産	6,444	6,444
建設仮勘定	15,333	—
土地	145	145
減価償却累計額	△46,295	△50,118
有形固定資産合計	63,894	41,913
無形固定資産		
のれん	250,765	54,409
ソフトウェア	122,068	394,028
その他	127,936	58,440
無形固定資産合計	500,770	506,878
投資その他の資産		
投資有価証券	40,838	0
繰延税金資産	27,811	54,967
その他	95,229	94,470
投資その他の資産合計	163,879	149,437
固定資産合計	728,543	698,229
資産合計	3,494,612	3,199,449



(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	100,000	—
1年内返済予定の長期借入金	353,617	346,633
未払金	355,324	260,064
未払費用	132,114	175,999
未払法人税等	52,502	71,111
契約負債	919,554	1,101,578
その他	87,629	240,704
流動負債合計	2,000,742	2,196,091
固定負債		
長期借入金	504,105	195,815
繰延税金負債	1,840	702
資産除去債務	22,384	22,562
その他	4,950	2,134
固定負債合計	533,280	221,214
負債合計	2,534,022	2,417,305
純資産の部		
株主資本		
資本金	656,674	664,424
新株式申込証拠金	11	—
資本剰余金	534,431	542,181
利益剰余金	△230,343	△424,277
自己株式	△184	△184
株主資本合計	960,589	782,144
純資産合計	960,589	782,144
負債純資産合計	3,494,612	3,199,449

## (2) 連結損益及び包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	3,741,454	4,602,623
売上原価	477,331	535,912
売上総利益	3,264,122	4,066,710
販売費及び一般管理費	3,675,948	3,927,232
営業利益又は営業損失(△)	△411,825	139,478
営業外収益		
受取保険金	19,584	—
助成金収入	—	2,492
業務受託料	706	506
受取手数料	—	1,454
その他	955	298
営業外収益合計	21,247	4,751
営業外費用		
支払利息	4,514	4,367
株式報酬費用消滅損	—	1,350
株式交付費	1,244	758
その他	1,099	79
営業外費用合計	6,859	6,556
経常利益又は経常損失(△)	△397,437	137,673
特別損失		
固定資産除却損	—	15,207
投資有価証券評価損	—	40,837
減損損失	—	201,755
特別損失合計	—	257,801
税金等調整前当期純損失(△)	△397,437	△120,128
法人税、住民税及び事業税	86,337	102,098
法人税等調整額	8,645	△28,293
法人税等合計	94,983	73,805
当期純損失(△)	△492,421	△193,933
(内訳)		
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△492,421	△193,933
その他の包括利益	—	—
包括利益	△492,421	△193,933
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△492,421	△193,933

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本						純資産合計
	資本金	新株式 申込証拠金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	
当期首残高	644,087	2,816	521,845	262,077	△184	1,430,642	1,430,642
当期変動額							
新株の発行 (譲渡制限付 株式報酬)	6,601		6,601			13,202	13,202
新株の発行 (新株予約権 の行使)	5,985	△11,970	5,985			—	—
新株予約権の行使		9,165				9,165	9,165
親会社株主に帰属する当 期純損失 (△)				△492,421		△492,421	△492,421
株主資本以外の項目の当 期変動額 (純額)							—
当期変動額合計	12,586	△2,804	12,586	△492,421	—	△470,053	△470,053
当期末残高	656,674	11	534,431	△230,343	△184	960,589	960,589

当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本						純資産合計
	資本金	新株式 申込証拠金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	
当期首残高	656,674	11	534,431	△230,343	△184	960,589	960,589
当期変動額							
新株の発行 (譲渡制限付 株式報酬)	6,776		6,776			13,552	13,552
新株の発行 (新株予約権 の行使)	973	△1,947	973			—	—
新株予約権の行使		1,936				1,936	1,936
親会社株主に帰属する当 期純損失 (△)				△193,933		△193,933	△193,933
株主資本以外の項目の当 期変動額 (純額)							—
当期変動額合計	7,750	△11	7,750	△193,933	—	△178,445	△178,445
当期末残高	664,424	—	542,181	△424,277	△184	782,144	782,144

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純損失 (△)	△397,437	△120,128
減価償却費	39,131	72,757
のれん償却額	22,212	32,738
減損損失	—	201,755
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	40,837
固定資産除却損	—	15,207
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△813	—
支払利息	4,514	4,367
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	△7,785	15,546
未払金の増減額 (△は減少)	△32,645	△96,393
未払費用の増減額 (△は減少)	36,754	28,498
契約負債の増減額 (△は減少)	249,035	182,023
その他	△101,482	201,970
小計	△188,516	579,183
利息及び配当金の受取額	45	24
利息の支払額	△4,514	△2,910
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△98,510	△85,987
営業活動によるキャッシュ・フロー	△291,496	490,310
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△21,353	△30,843
無形固定資産の取得による支出	△198,427	△259,214
事業譲受による支出	△88,698	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△139,382	—
その他	△4,361	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△452,224	△290,058
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	100,000	△100,000
長期借入れによる収入	500,000	50,000
長期借入金の返済による支出	△266,320	△365,274
ストックオプションの行使による収入	9,165	1,936
その他	△2,648	△2,129
財務活動によるキャッシュ・フロー	340,197	△415,467
現金及び現金同等物に係る換算差額	△368	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△403,892	△215,214
現金及び現金同等物の期首残高	2,783,787	2,379,895
現金及び現金同等物の期末残高	2,379,895	2,164,680

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

当社グループは、HRプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## 【関連情報】

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

(単位:千円)

	OfferBox (早期定額型)	OfferBox (成功報酬型)	eF-1G (適性検査)	その他	合計
外部顧客への売上高	2,691,177	680,532	264,821	104,922	3,741,454

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

## (2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

(単位:千円)

	OfferBox (早期定額型)	OfferBox (成功報酬型)	eF-1G (適性検査)	その他	合計
外部顧客への売上高	3,443,563	740,746	273,874	144,438	4,602,623

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

## (2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

## 【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

当社グループは、HRプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## 【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

当社グループは、HRプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## 【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	243.96円	198.09円
1株当たり当期純損失(△)	△125.26円	△49.15円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	－円	－円

(注) 1. 当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純損失(△)及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり当期純損失(△)		
親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△492,421	△193,933
普通株主に帰属しない金額(千円)	－	－
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△492,421	△193,933
普通株式の期中平均株式数(株)	3,931,311	3,945,434
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	－	－
普通株式増加数(株)	39,346	15,809
(うち新株予約権)	(39,346)	(15,809)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	－	－

(重要な後発事象)

(連結子会社の吸収合併)

当社は、2024年5月14日開催の取締役会において、当社の完全子会社である株式会社paceboxを吸収合併すること及び本吸収合併にあたり、当社が同社に対して有する債権の一部を放棄することを決議いたしました。

(1) 取引の概要

① 結合当事企業の名称及びその事業の内容

(存続会社) 株式会社i-plug

(消滅会社) 株式会社pacebox

(事業の内容) オファー型転職サービス「PaceBox」の運営

② 企業結合日

2024年7月1日(予定)

③ 企業結合の法的形式

当社を存続会社、株式会社paceboxを消滅会社とする吸収合併

④ 結合後企業の名称

株式会社i-plug

⑤ その他取引の概要に関する事項

2024年6月28日をもって終了するオファー型転職サービス「PaceBox」を利用して採用が決定した企業に対し、採用した人材の2年間の定着保証を行っております。この度、当社グループの経営の効率化を図るとともに、サービス終了後の保証義務を確実に履行するために、当社は株式会社paceboxを吸収合併することといたしました。

なお、本合併に先立ち、株式会社paceboxに対する債権のうち一部(910,856千円)を2024年6月28日付で放棄する予定であります。

(2) 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 2019年1月16日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日)に基づき、共通支配下の取引として処理する予定であります。

なお、本合併による当社の連結業績への影響(主に株式会社paceboxから引き継ぐ税務上の繰越欠損金に関する税効果)は算定中です。また、債権放棄による当社の連結業績に与える影響はありません。